

# くれっせんど

関西合唱団  
機関紙部発行  
2023年  
11月 9日



## 創立75周年演奏会で一緒に歌いませんか

秋も深まってまいりましたが、みなさまにおかれましてはいかがお過ごしでしょうか。合唱団OB、研究生、ともに歌う団員のみなさまに「くれっせんど」特別号をお送りいたします。

関西合唱団においてもコロナ禍の3年余で様々な変化がありました。「3密」の代表ともいえる合唱活動を行う困難を経て、昨年2月に開催した3年ぶりの定期演奏会は皆さまのご支援を始め全国のうたごえの仲間を支えられて行うことができ、多くの方々を支えられてこそ合唱団が活動できるのだと改めて感じました。今後とも感謝の気持ちを忘れずに活動していきたい、そしてうたごえを平和や暮らし、人権を守る運動に役立てていくために頑張っていきたいと思っております。

一方で、この3年余で団員が8名も減少してしまいました。これは、コロナ禍の理由だけではなく病気や死亡などやむをえない悲しい事情が相次いだことによるものでした。その中でも若手の男性団員が2名入団するうれしいことも

ありました。現在は40名あまりの団員ですが、5年後の2027年には70名の団員にしようとして未来を担う若手団員を中心に「Happy70プロジェクト」を立ち上げ、団員を増やそうと元氣よく動き出したところです。当面は、来年

10月5日(土)6日(日)いずみホールにおいて開催する創立75周年記念第87回定期演奏会に向けて「ともに歌う団員」を募集しております。詳細は同封いたしましたチラシをご覧ください。ぜひともみなさまに再度一緒に歌っていただければと願っております。また、お知り合いで歌うことに興味をお持ちの方にご案内、ご紹介いただければありがたく存じます。その際はお手数ですが、当団までご一報いただければ幸いです。なにとぞよろしくお願い申し上げます。

いま、パレスチナ自治区ガザをイスラエルが無差別に攻撃し、多くの子どもいのちが奪われ深刻な人道的危機になっていることに胸が張り裂けそうになります。この国では憲法9条を反故にするかのように敵基地を攻撃できる長距

離ミサイルの保有、沖縄など南西諸島を戦場化する軍事強化が進んでいます。しかし、武力は憎しみと報復の連鎖を招くだけです。武器や戦争で穏やかな日常の暮らしは守れません。私たちは二度と戦争は起こさないと決意をうたごえに託して歌い広げてきました。毎月9日には鳴野駅前で憲法9条を守れと宣伝行動を15年間続けています。「新しい戦前」と呼ばれる今こそ「うたごえは平和の力」のスローガンをもつと輝かせていきたいと思えます。

また、非正規雇用の拡大や社会保障の切り下げ、消費税増税など40年来の弱肉強食と自己責任を押し付ける動きによって貧困と格差が広がり、生きづらい社会となっております。しかし一方で、ヤマト運輸でパート労働者の組合が雇い止めを撤回させたこと、ジェンダー平等を求める裁判での勝利判決、外国人難民に対する入管の人権侵害に反対する市民の運動の広がりなど、声をあげればまわりの共感を広げ社会を動かすことができるという動きに励まされます。「うたごえは生きる力」として「うたは人と人を結ぶ」ようにうたごえを役立てていきたいと思えます。

来年の定期演奏会はそんな想いで企画しました。詳しくは次からの文章をお読みください。季節の変わり目、お体ご自愛のほど。

団長 山本 則幸